

つきいち

月1原発映画祭 + 交流カフェ

～映画でみる・知る・感じる原発～

🏠 会場：谷中の家（台東区谷中3-17-11）



第19回 11月2日(土) 14:00～映画とトーク 16:00～17:00 交流カフェ（開場13:30）

日本からの輸出原発第1号、台湾の第四原発の地元では・・・

コンリヤオ

こんにちは 貢寮

アンコール上映！



（チェ・スーシン監督／台湾2004年／89分）
<http://www.selectourfuture.org/gongliao/>

彼らにとって、原発に反対することは、この土地を愛すること、
この海を愛すること、家族を愛すること —— チェ・スーシン監督

1991年、日本から輸出される原発に揺れる台湾の貢寮で、原発に反対する青年が無実の罪で投獄された。それから7年、獄中に向けて一人の女子学生が手紙を書き始めた。進んでいく工事のこと、それでも反核を貫く人びとのこと、そして志半ばに亡くなっていく老人たちのこと。原発をめぐる歴史の中で、政治でもなく、経済でもなく、科学でもない、本当に信じるべきものがきらめき始める。

● トークと交流カフェのゲスト ^{ダン ウィシ} 陳威志さん（一橋大学社会学研究科博士課程在籍）

2005～08年、第四原発反対運動に取り組む台湾緑色公民行動連盟に勤務、その間、上映会のためにチェ・スーシン監督とともに祝島、広島、北九州などを訪問。修士論文に祝島住民による原発反対運動を取りあげるなど、原発立地地域の問題に関わってこられました。当日は、この映画の背景や第四原発をめぐる国民投票のことなどを話していただきます。

■映画とトーク参加費：500円、交流カフェ参加費：500円（ワンドリンク+軽食付き）

※8/3第14回月1原発映画祭にて本作を上映した際、昼の部で上映不具合がありました。8/3昼の部にご参加の方は、今回の映画とトーク参加費は無料といたします。

